

▶ 第9章

中日米のデータセキュリティー論議 ——プラットフォーム企業のリスク管理

上海交通大学 中国法と社会研究院 研究助理

趙 沢叡

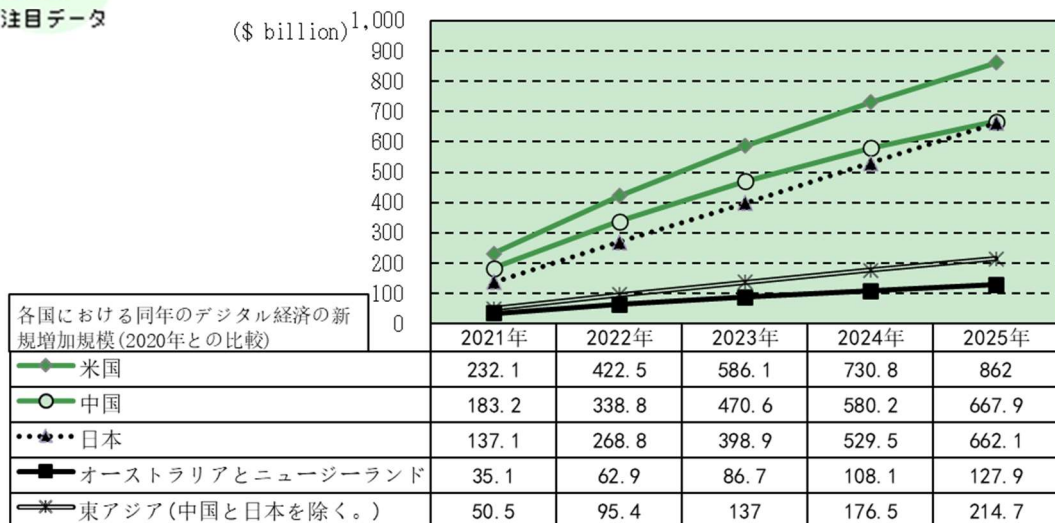
【ポイント】

- ▶ 新型コロナウイルスの流行後、デジタル経済は世界経済回復の重要な支えとなっている。デジタル経済の発展の基本的な特徴は、デジタルプラットフォーム企業をめぐる中国、日本及び米国のリスク管理政策が、世界のデジタル経済の未来の構造に影響を与える重要な要素であることを決定づけた。
- ▶ 中国、日本、米国は、デジタルプラットフォーム企業のリスクを管理するために異なる政策を打ち出している。中国は二重の循環メカニズムを通じて企業のリスク決定プロセスを開放した。日本は、多様な主体の意思決定を調整する独立機構を設置した。米国では、情報開示の仕組みで企業の自律を促すという考え方が貫かれている。
- ▶ 中国、日本及び米国のリスク管理政策の背後では、多国間のリスク利害関係者でリスク疎通メカニズムを構築するという基本理念が体现されている。しかし、3カ国のリスク疎通メカニズムには大きな違いがあり、これはデジタル経済の地域的協力と世界的発展に障害をもたらすだろう。



注目データ

各国のデジタル経済の年間新規増加規模の予測



資料：アジア開発銀行(ADB)「アジア経済統合レポート2021」のデータに基づいて作成